わげんあいご　びてんぎょうし
和顔愛語・美点凝視　校長室からご家庭へ　R3.9.30(木) 文責：百田

生徒達による学校評価アンケートの中間結果を報告させていただきます。

1年間の前半6カ月がほぼ終わりましたので、生徒のみなさんにアンケートを実施しました。その主な結果が以下のようになりましたので、ご報告いたします。

No.	質問	%
1	学校生活が楽しい。	93
2	相手のことを思いやって行動している。	99
3	整理整頓を心がけている。	87
4	口を閉じ、時間いっぱいがんばって掃除している。	92
5	ルールを守り、みんなと気持ちよく生活している。	99
6	みんなと勉強したり部活をしたり遊んだりすることが楽しい。	94
7	自分から先に、気持ちのよいあいさつをしている。	84
8	7～8時間睡眠時間がとれている。	82
9	ネット利用自主ルールを守っている。	83
10	部活動が好きだ。	91
11	授業が好きだ。	80
12	授業がよく分かる。	92
13	授業中、自分の考えを説明したり発表したりしている。	66
14	授業中、よいところや頑張ったところを認められている。	77

（アンケート結果を受けての考察）

〇No.1,8,12の3点は、学校全体として、一番力を入れているところです。それぞれ年度はじめに目標としていた数値をクリアすることができ、ホッとしています。生徒達にとって「学校生活が楽しい」と感じられるためには、何よりも「安心できる学級づくり・学校づくり」が大切だと考えています。これからも短学活、給食、掃除、学校行事、授業、部活動などに工夫をこらし、すべての生徒がホッとできる居場所づくりをめざして参りたいと思います。

△「7～8時間睡眠時間がとれている」の問題意識は、ネット依存（あるいはスマホ依存、ゲーム依存）の傾向が見られるようになると、就寝時刻が遅くなり、睡眠不足になったり、昼夜逆転して学校に行けなくなったりする生徒が毎年数名見られることから始まっています。

　ただ、気をつけたいのは、「依存症→生活上の問題」ばかりとは限らずに、「生活上の問題→依存症」ではないかと思われるケースもあるということです。学校での人間関係に悩んでストレスを抱えている、親から強く叱られるなど親子関係でストレスを抱えている、やらなければいけないのはわかっているのに勉強がはかどらない、人とのコミュニケーションが苦手で、一人でネットやゲームに向かっている方が安心できるなどの問題を抱えているのかも知れません。

　本校では、学級担任がログノート（心のノート）にコメントを入れながら、子どもたちの悩みをいち早くキャッチしようとしています。また養護教諭や学年主任を中心に教育相談や特別支援教育に力を入れています。スクールカウンセラー（SC）の米田先生ややスクールソーシャルワーカー（SSW）の三好先生、嶺南教育事務所の広澤先生などにも相談しながら、いつも子どもたちを真ん中に据えて、保護者と教員がスクラムを組んで、改善の方策を探ってまいりたいと考えます。ご理解とご協力をどうかよろしくお願いします。

△「安心できる学級づくり・学校づくり」とともに学校の一番の使命は「一時間一時間の授業の充実」だと考えます。そのために教員は日頃からお互いの授業を参観したり、他校の授業も参観したり、研修会に参加したりしています。多くの生徒が「授業がよくわかる」、と回答してくれたことはうれしい限りですが、これに満足することなく、「自分の考えを説明したり発表したりする」活動を増やしたり、もっと「よいところや頑張ったところを認める」などして、すべての生徒にとって「わかる授業」「できる授業」「楽しい授業」「引き出す授業」づくりを進めて参りたいと考えます。

〇総合的な学習の時間（MIKATA Research）につきましては、先日レインボーライン山頂公園の案内ポスターを製作した3年生のグループがいくつかの新聞で取り上げていただきました。「地域に学校が助けられる」だけでなく、「学校や子どもたちが地域に関心を持ち、地域や社会をよくするために、自分たちに何ができるかを考える」こともとても大切なことと考えており、実際にその方向に進んでいるものと自負しております。町観光未来創造課など町内外の外部講師に教えていただきながら、今後ともさらにこの時間を充実してまいりたいと思います。

△学力が学習時間と関係することは、全国学力調査の集計結果からもわかっています。どの人にも同じように1日24時間与えられており、学力向上に結びつく勉強や読書を優先できるか、復習中心で学習できるか、ネット動画やオンラインゲーム、スマホなどを人に言われなくてもやめられるかどうかが、結局は分かれ道になってきます。でも、ご存じのとおり、これがなかなかむずかしい。本校では、宿題を多く出すと、なかなか消化できずに、体調をくずしたりする人もいますので、かなり数を絞って出すようにしています。また、提出された宿題は、教科担任が、教科係の生徒にも手伝ってもらいながら必ず点検するようにしています。それでも宿題をするのが難しければ、遠慮なく申し出てください。量をさらに減らしたり、一緒に取り組んだりもできます。また、テスト前には早めに範囲を終えて、質問を受け付けるようにしています。宿題に四苦八苦している様子が見られましたら、お家の方からも学校までぜひご連絡をお願いします。